

平成28年度
赤穂市立赤穂中学校
「学校だより」

荒神台

NO. 19

平成28年5月2日発行
文責 校長(平井正彦)

わが子に伝える 親の願い

新しい教職員を迎え、新しいチームにより教育活動をスタートさせ、1か月になります。

生徒も教師も、新鮮な雰囲気と適度な緊張感を持って、授業に、部活動に、生徒会活動に取り組んでいます。若い教師には、エネルギーと躍動感があり、可能性と魅力であふれています。また、生徒は、新入生も部活動に加わり、活気が出てきました。

これからも、学校は、これまで積み上げてきた仲間づくり・人づくりを地道に続けていくことが大切だと思っています。

同じように、保護者の方にも、続けて欲しいことがあります。それは、人として大切にしなければならない、基本的な心の土台について、わが子にしっかり伝えることです。



- 辛抱する
- 人に迷惑をかけない
- 物を大切にする
- 時間を守る
- あいさつをする
- 感謝する
- 何でも自分の思い通りにならない

これらは、学校でも指導していますが、基本的な心の土台づくりは、家庭の大切な役割の一つです。

家庭では、毎日の生活の中で、いろいろな問題や課題が生まれます。それを、親が子ども目線で一緒に考え、声をかけ合い、決めたことをみんなで守り、問題を解決していきます。

時には、親の一言で決まってしまうこともあるでしょう。常に子ども優先も望ましくありません。何でも子どもが主人公では、わがままで自分勝手な大人になります。ドラマに出てくる

脇役や通行人の経験も必要です。

褒められたり、叱られたり、がまんさせたり、家族でも「ありがとう」と声に出し感謝し合ったり、今日は「ママ・テレの日」として、母親が自由にテレビの選局ボタンを押せる日をつくったり、いつも帰りが遅く、しいたげられている父親に「ひかえおう！カード」を10枚ほど渡し、休日に殿様気分を味わってもらったり・・・。



家庭での、このような営みの繰り返しと積み重ね、親からの言葉かけによって、子どもには、人を大切にするなどの基本的な心の土台がつけられていきます。

学校では、家庭や地域ではできない集団活動や自治活動での、いろいろな人との関わりを通して、考え方の違いを知り、それを乗り越えてだれもが住みやすい社会を築くための社会性を育てます。さらに授業を通して、必要な知識や考える力、判断力、表現力などを伸ばしていきます。



親の思いや願いが十分に伝わっていない子どもが増えているように感じます。

もう一度、わが子をチェック!!

ご心配をおかけしました。インターネットのサイトに「爆破予告」の書き込みがあり、緊急対応しましたが、学校は爆破されず、生徒、教職員とも異常ありません 4/28(木)。

赤穂中学校 オープンスクール

■平成28年5月9日(月)～5月13日(金)

■子どもの様子を観に来て下さい。■期間中、自由に参観できます。■控室〔会議室：運動場側校舎1Fの奥へ〕



ウォーキングコースに赤穂中を

■お勤めでない方は、朝のウォーキング・コースの通過ポイントに「赤穂中学校」を入れてください。授業の様子を参観し、控室〔会議室をコミュニティルームとして開放〕で休憩し、次の通過ポイントへ出発です。

【特典1】600mの坂道付き

【特典2】中学生からの「あいさつ」付き

赤穂市民総合体育祭 (第1部 5/22) 地区対抗「ルーマラソン!!」

400m×25人=10km、小学生から59歳までの25人が400mずつリレーし、10kmを走ります。地域のために活躍してくれるメンバーです。



《赤穂地区》先生1、生徒14

- ・上村颯斗、福本竜生、橋本悠司、高田尚貴、野村純平、津原一樹、市瀬大聖、井筒脩允、清水良将、川島先生
- ・濱本愛梨、松原未空、桃井希実、東南綾夏、山崎涼花

《城西地区》先生3、生徒8、卒業生2

- ・山本 秀、池内和輝、出井愁二、松川幸生、大澤龍輝、大塚高博、下村先生、中林先生
- ・山手理乃、岡村祐果、高木萌々子、寺田聖菜、岡本先生

地域の方から…届きました 「あいさつ」ありがとう!!

朝、自転車に乗って、7時ごろに散歩している主婦ですが、中広（すこやかセンター山側）を自転車で走っている中1か中2の男の子が、挨拶してくれたのです。

私は、学生とすれ違う時は、必ず自分から「おはようございます」と声をかけますが、なかなか返ってこず、寂しい思いをしていますが、今日は、ちゃんと顔を見て頭を下げて声出して返事してくれたのです。

昨年も、体格が大きかったので中3だと思のですが、大きい声で挨拶してくれました。この、うれしさ……。

多分、朝の部活に行く子どもではないかと思うのですが、我が家の孫でも、ろくに会話しないのに、とてもうれしかったのでペンを取りました。これからは進んで大人から声を出したいと思いました。



〔北野中の主婦より〕 4/14

熊本地震

JRC
青少年赤十字活動

日本人は、季節による自然の細かい変化を見過ごすことなく、自然をありのままに受入れてきました。さらに、微妙な違いにことばを割り当て、自然の変化に心を寄せ、季節感あふれる豊かな生活様式をつくってきたのです。

しかし、時に、自然の変化は私たちに鋭いきばを向け、豊かな生活の全てを容赦なく破壊することもあります。4月14日に始まった「熊本地震」は、多くの人の命と生活を奪い、8万人を越える人が、避難生活を強いられています。



亡くなられた多くの方に哀悼の意を捧げるとともに、被災された方の一日も早い復興を願って止みません。

なお、本校からは、生活物資を送り、また、生徒会の募金活動による「支援」を行っているところです。

赤穂市も「南海トラフ」「山崎断層」など、近い将来(30年以内)に50～60%の確率で地震の被害を受けることが想定されています。人ごとではありません。

家庭訪問

4/25(月)～28(木)

学級担任と話す時間は十分ではなかったと思いますが、ありがとうございました。また、何かありましたら、遠慮なく学級担任にお知らせください。



☎42-2149

中間テスト

5/19(木).20(金)

始業式の式辞の中で、「自分を変えるチャンスの時」と生徒に話しました。今までとは、少し違う「頑張り」が見られるようであれば、結果が悪くても、頑張ったことを認め、声をかけ、好きなおかずを一つ増やしてやってください。

疲れが出始めています

一気に始まった「中学校生活」に慣れてきたところですが、部活動、市民体育祭、中間テスト、合宿訓練と、1年生には、初体験の行事が続きます。疲れが出始める頃です。ケガや事故に遭わないよう、また、早めに寝るようにさせて下さい。